

令和3年度 財政状況資料集

総括表（市町村）

都道府県名		愛媛県		市町村類型	Ⅲ－２		指定団体等の指定状況		区分		令和3年度(千円)		令和2年度(千円)		区分		令和3年度(千円・%)		令和2年度(千円・%)												
							財政健全化等	×	歳入総額	58,143,712	64,611,981	実質収支比率	3.4	3.2																	
市町村名		新居浜市		地方交付税種地	1-4		財源超過	×	歳出総額	57,052,076	63,447,462	経常収支比率	75.2	81.5																	
							財源超過	×	歳入歳出差引	1,091,636	1,164,519	(※1)	(81.1)	(86.3)																	
							首都	×	翌年度に繰越すべき財源	107,718	262,942	標準財政規模	28,526,491	27,748,236																	
							近畿	×	実質収支	983,918	901,577	財政力指数	0.76	0.77																	
人口		令和2年国調(人)	115,938	産業構造(※5)			中部	×	単年度収支	82,341	-60,937	公債費負担比率	11.8	12.2																	
		平成27年国調(人)	119,903				過疎	○	積立金	889,577	603,873	健全化判断比率																			
		増減率(%)	-3.3				山振	○	繰上償還金	0	0	実質赤字比率	-	-																	
住民基本台帳人口(※7)		令04.01.01(人)	116,624	区分	令和2年国調	平成27年国調	低開発	×	積立金取崩し額	1,400,000	1,345,000	連結実質赤字比率	-	-																	
		うち日本人(人)	115,394		650	720	指数表選定	○	実質単年度収支	-428,082	-802,064	実質公債費比率	1.6	1.4																	
		令03.01.01(人)	117,846	第1次	1.3	1.4					将来負担比率	12.6	21.9																		
		うち日本人(人)	116,493		17,030	16,960																									
		増減率(%)	-1.0	第2次	33.1	32.7																									
		うち日本人(%)	-0.9		33,827	34,206																									
面積(k㎡)		234.47		第3次	65.7	65.9																									
人口密度(人/ｋ㎡)		494																													
世帯数(世帯)		51,310																													
職員の状況																															
特別職等	区分		定数	1人あたり平均給料月額(百円)	一般職員等(※6)	区分		職員数(人)	給料月額(百円)	1人あたり平均給料月額(百円)	地方債現在高		53,518,511	53,071,866																	
	市区町村長		1	9,560		一般職員		794	2,535,242	3,193	うち公的資金		37,869,086	37,885,803																	
	副市区町村長		2	7,315		うち消防職員		138	424,488	3,076	地方債現在高(臨時財政対策債除き)		30,187,593	30,212,115																	
	教育長		1	6,580		うち技能労務職員		20	67,500	3,375	債務負担行為額(支出予定額)		7,758,403	6,932,714																	
	議会議長		1	5,720		教育公務員		12	44,532	3,711	収益事業収入		-	-																	
	議会副議長		1	5,180		臨時職員		-	-	-	土地開発基金現在高		-	-																	
	議会議員		24	4,820		合計		806	2,579,774	3,201	積立金現在高	1,754,333	2,264,756																		
						ラスバイレス指数		99.7			減債基金	1,643,400	576,343																		
											その他特定目的基金	5,142,698	4,425,906																		
一般会計等の一覧																															
項番		会計名		事業会計の一覧		項番		会計名		公営企業(法適)の一覧		項番		会計名		公営企業(法非適)の一覧		項番		組合等名		関係する一部事務組合等一覧		項番		地方公社・第三セクター等一覧		団体名		(※3)	
(1)		一般会計		(3)		国民健康保険事業特別会計		(6)		水道事業会計		(9)		渡海船事業特別会計		(11)		愛媛県地方税滞納整理機構		(14)		マイントピア別子									
(2)		平尾基園事業特別会計		(4)		介護保険事業特別会計		(7)		工業用水道事業会計		(10)		工業用地造成事業特別会計		(12)		愛媛県後期高齢者医療広域連合(特別会計)		(15)		新居浜市土地開発公社									
				(5)		後期高齢者医療事業特別会計		(8)		公共下水道事業会計						(13)		愛媛県後期高齢者医療広域連合(一般会計)		(16)		新居浜市文化体育振興事業団									
																						(17)		別子木材センター							
																								(18)		えひめ東予産業創造センター					

(注釈) ※1：経常収支比率の()内の数値は、「減収補填債(特例分)」「猶予特例債」及び「臨時財政対策債」を除いて算出したものである。
※2：各会計の一覧は主な会計(10会計まで)を記載している。
※3：地方公共団体が損失補填等を行っている出資法人で、健全化法の算出対象となっている団体については、「地方公社・第三セクター等」の団体名に○印を付与している。
※4：資金不足比率欄には、資金が不足している会計のみ記載している。
※5：産業構造の比率は、分母を就業人口総数とし、分類不能の産業を除いて算出。
※6：個人情報保護の観点から、対象となる職員数が1人又は2人の場合は、「給料月額(百円)」と「1人当たり給料月額(百円)」を「アスタリスク(*)」としている。(その他、数値のない欄については、すべてハイフン(-)としている)。
※7：人口については、調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※8：職員の状況については、令和3年地方公務員給与実態調査に基づいている。

(1) 普通会計の状況（市町村）

歳入の状況（単位 千円・％）					地方税の状況（単位 千円・％）			
区分	決算額	構成比	経常一般財源等	構成比	区分	収入済額	構成比	超過課税分
地方税	19,503,776	33.5	18,307,274	64.7	普通税	18,306,753	93.9	459,286
地方譲与税	350,121	0.6	350,121	1.2	法定普通税	18,306,753	93.9	459,286
利子割交付金	20,362	0.0	20,362	0.1	市町村民税	7,808,403	40.0	459,286
配当割交付金	92,449	0.2	92,449	0.3	個人均等割	202,923	1.0	-
株式等譲渡所得割交付金	115,218	0.2	115,218	0.4	所得割	5,619,206	28.8	-
分離課税所得割交付金	-	-	-	-	法人均等割	365,279	1.9	-
地方消費税交付金	2,794,641	4.8	2,794,641	9.9	法人税割	1,620,995	8.3	459,286
ゴルフ場利用税交付金	31,043	0.1	31,043	0.1	固定資産税	9,231,736	47.3	-
特別地方消費税交付金	-	-	-	-	うち純固定資産税	9,220,350	47.3	-
自動車取得税交付金	-	-	-	-	軽自動車税	428,734	2.2	-
軽油引取税交付金	-	-	-	-	市町村たばこ税	837,880	4.3	-
自動車税環境性能割交付金	20,455	0.0	20,455	0.1	鉱産税	-	-	-
法人事業税交付金	305,448	0.5	305,448	1.1	特別土地保有税	-	-	-
地方特例交付金等	341,658	0.6	314,749	1.1	法定外普通税	-	-	-
個人住民税減収補填特例交付金	98,438	0.2	98,438	0.3	目的税	1,197,023	6.1	-
自動車税減収補填特例交付金	6,409	0.0	6,409	0.0	法定目的税	1,197,023	6.1	-
軽自動車税減収補填特例交付金	6,074	0.0	6,074	0.0	入湯税	521	0.0	-
新型コロナウイルス感染症対策地方税減収補填特別交付金	230,737	0.4	203,828	0.7	事業所税	-	-	-
地方交付税	6,607,512	11.4	5,895,057	20.8	都市計画税	1,196,502	6.1	-
普通交付税	5,895,057	10.1	5,895,057	20.8	水利地益税等	-	-	-
特別交付税	712,455	1.2	-	-	法定外目的税	-	-	-
震災復興特別交付税	-	-	-	-	旧法による税	-	-	-
（一般財源計）	30,182,683	51.9	28,246,817	99.8	合計	19,503,776	100.0	459,286
交通安全対策特別交付金	14,015	0.0	14,015	0.0				
分担金・負担金	220,729	0.4	-	-				
使用料	454,115	0.8	-	-				
手数料	237,091	0.4	5,329	0.0				
国庫支出金	13,358,022	23.0	-	-				
国庫提供交付金（特別区財調交付金）	-	-	-	-				
都道府県支出金	3,817,408	6.6	-	-				
財産収入	119,518	0.2	1,854	0.0				
寄附金	454,761	0.8	-	-				
繰入金	1,790,329	3.1	-	-				
繰越金	1,164,519	2.0	-	-				
諸収入	1,626,893	2.8	21,836	0.1				
地方債	4,703,629	8.1	-	-				
うち減収補填債（特例分）	-	-	-	-				
うち猶予特例債	-	-	-	-				
うち臨時財政対策債	2,249,829	3.9	-	-				
歳入合計	58,143,712	100.0	28,289,851	100.0				

(注釈)

普通建設事業費の補助事業費には受託事業費のうちの補助事業費を含み、単独事業費には同級他団体施行事業負担金及び受託事業費のうちの単独事業費を含む。

歳出の状況（単位 千円・％）					
目的別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額（A）	構成比	（A）のうち普通建設事業費	（A）のうち充当一般財源等	
議会費	342,272	0.6	-	342,272	
総務費	7,939,242	13.9	617,402	6,920,804	
民生費	23,342,814	40.9	149,821	10,166,168	
衛生費	4,882,658	8.6	1,148,612	2,948,536	
労働費	378,379	0.7	-	38,547	
農林水産業費	673,875	1.2	276,210	508,421	
商工費	3,531,336	6.2	131,227	1,871,237	
土木費	5,397,311	9.5	2,466,682	3,231,040	
消防費	1,596,395	2.8	206,924	1,375,036	
教育費	4,314,393	7.6	326,948	3,719,209	
災害復旧費	122,484	0.2	-	3,507	
公債費	4,482,223	7.9	-	4,319,837	
諸支出金	48,694	0.1	-	48,694	
前年度繰上充用金	-	-	-	-	
歳出合計	57,052,076	100.0	5,323,826	35,493,308	
性質別歳出の状況（単位 千円・％）					
区分	決算額	構成比	充当一般財源等	経常経費充当一般財源等	経常収支比率
義務的経費計	27,901,361	48.9	15,415,306	14,435,930	47.3
人件費	8,408,544	14.7	7,631,547	7,228,229	23.7
うち職員給	5,046,610	8.8	4,498,699	-	-
扶助費	15,011,100	26.3	3,464,428	2,888,370	9.5
公債費	4,481,717	7.9	4,319,331	4,319,331	14.1
元利償還金	4,481,717	7.9	4,319,331	4,319,331	14.1
内 うち元金	4,256,984	7.5	4,105,741	4,105,741	13.4
訳 うち利子	224,733	0.4	213,590	213,590	0.7
一時借入金利子	-	-	-	-	-
その他の経費	23,704,405	41.5	18,290,073	8,516,011	27.9
物件費	8,272,919	14.5	6,278,036	3,766,767	12.3
維持補修費	390,817	0.7	343,498	343,498	1.1
補助費等	5,413,267	9.5	3,865,704	1,870,382	6.1
うち一部事務組合負担金	11,021	0.0	11,021	-	-
繰出金	5,544,140	9.7	4,573,221	2,285,364	7.5
積立金	2,993,258	5.2	2,968,610	-	-
投資・出資金・貸付金	1,090,004	1.9	261,004	250,000	0.8
前年度繰上充用金	-	-	-	-	-
投資的経費計	5,446,310	9.5	1,787,929	-	-
うち人件費	167,070	0.3	167,070	-	-
普通建設事業費	5,323,826	9.3	1,784,422	-	-
うち補助	2,010,930	3.5	223,932	-	-
うち単独	3,241,270	5.7	1,545,364	-	-
災害復旧事業費	122,484	0.2	3,507	-	-
失業対策事業費	-	-	-	-	-
歳出合計	57,052,076	100.0	35,493,308	-	-

(2)各会計、関係団体の財政状況及び健全化判断比率（市町村）

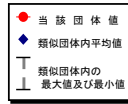
一般会計等の財政状況(単位:百万円)

会計名	歳入	歳出	形式収支	実収収支	他会計等からの繰入金	地方債現在高	備考
1 一般会計	58,139	57,047	1,092	984	0	54,239	
2 平尾基園事業特別会計	32	32	0	-	0	31	
3							
4							
5							
6							
7							
8							
9							
10							
11							
12							
13							
14							
15							
16							
17							
18							
19							
20							
21							
22							
23							
24							
25							
26							
27							
28							
29							
30							
31							
32							
33							
34							
35							
36							
37							
38							
39							
40							
41							
42							
43							
44							
45							
46							
47							
48							
49							
50							
51							
52							
53							
54							
55							
56							
57							
58							
59							
60							
61							
62							
63							
64							
65							
66							
67							
68							
69							
70							
71							
72							
73							
74							
75							
76							
77							
78							
79							
80							
81							
82							
83							
84							
85							
86							
87							
88							
89							
90							
91							
92							
93							
94							
95							
96							
97							
98							
99							
100							
101							
102							
103							
104							
105							
106							
107							
108							
109							
110							
111							
112							
113							
114							
115							
116							
117							
118							
119							
120							
121							
122							
123							
124							
125							
126							
127							
128							
129							
130							
131							
132							
133							
134							
135							
136							
137							
138							
139							
140							
141							
142							
143							
144							
145							
146							
147							
148							
149							
150							
151							
152							
153							
154							
155							
156							
157							
158							
159							
160							
161							
162							
163							
164							
165							
166							
167							
168							
169							
170							
171							
172							
173							
174							
175							
176							
177							
178							
179							
180							
181							
182							
183							
184							
185							
186							
187							
188							
189							
190							
191							
192							
193							
194							
195							
196							
197							
198							
199							
200							
201							
202							
203							
204							
205							
206							
207							
208							
209							
210							
211							
212							
213							
214							
215							
216							
217							
218							
219							
220							
221							
222							
223							
224							
225							
226							
227							
228							
229							
230							
231							
232							
233							
234							
235							
236							
237							
238							
239							
240							
241							
242							
243							
244							
245							
246							
247							
248							
249							
250							
251							
252							
253							
254							
255							
256							
257							
258							
259							
260							
261							
262							
263							
264							
265							
266							
267							
268							
269							
270							
271							
272							
273							
274							
275							
276							
277							
278							
279							
280							
281							
282							
283							
284							
285							
286							
287							
288							
289							
290							
291							
292							
293							
294							
295							
296							
297							
298							
299							
300							
301							
302							
303							
304							
305							
306							
307							

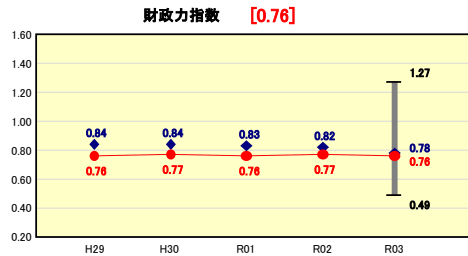
(3)市町村財政比較分析表(普通会計決算)

人 口 116,624	人(R4.1.1現在)	実 質 赤 字 比 率 -	%
うち日本人 115,394	人(R4.1.1現在)	連 結 実 質 赤 字 比 率 -	%
面積 234.47	km ²	実 質 公 債 費 比 率 1.6	%
歳入総額 58,143,712	千円	将 来 負 担 比 率 12.6	%
歳出総額 57,062,076	千円	市 町 村 類 型 H29 Ⅲ-2 H30 Ⅲ-2 R01 Ⅲ-2	
実質収支 983,918	千円	(年 度 毎) R02 Ⅲ-2 R03 Ⅲ-2	
標準財政規模 28,526,491	千円		
地方債現在高 53,518,511	千円		

※市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率及び将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。
※充当可能財源等が将来負担額を上回っている団体については、将来負担比率のグラフを表記しない。
※「人件費・物件費等の状況」の決算額は、人件費、物件費及び維持補修費の合計である。ただし、人件費には事業費支弁人件費を含み、退職金は含まない。
※人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。
※「定員管理の状況」の「人口1,000人当たり職員数」の算出に用いる職員数及び「給与水準（国との比較）」の「ラスバイレ指数」については、各調査対象年度の翌年の地方公務員給与実態調査に基づいているが、令和3年度は令和3年調査の数値を引用している。



財政力

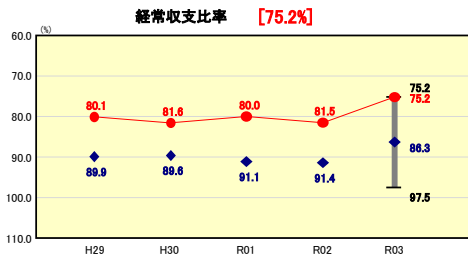


類似団体内順位 15/29 全国平均 0.50 愛媛県平均 0.42

財政力指数の分析欄

昨年度と比較して0.01ポイント減少したが、大きな変化はない。類似団体内平均値が減少してきていることから、平均値との差は0.02ポイントとなり、昨年度までより縮まった。当市の一般財源としては、住友企業群の法人税収入並びに企業の新たな設備投資により発生する償却資産税収入により、安定的な財政運営を行うことができるが、ともに景気に左右されやすく、新たな施設建設や既存施設の改修の際には、国・県からの支援の他、交付税収入率の高い起債を活用するなど、十分な情報収集等を行い、健全財政の維持に努める。

財政構造の弾力性

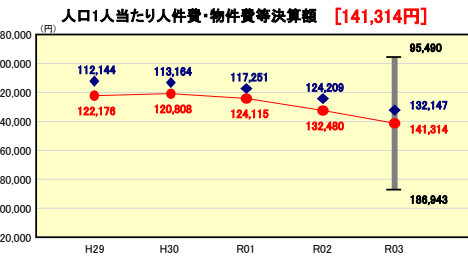


類似団体内順位 1/29 全国平均 88.9 愛媛県平均 86.2

経常収支比率の分析欄

昨年度と比較して6.3ポイント減少した。減少の要因としては、普通交付税等の経常一般財源の増加によるもので、新型コロナウイルス感染症の影響で当初減少すると見込まれた市税等において、見込を上回って歳入されたことが考えられる。普通交付税においては翌年度調整が行われることから、令和4年度決算においては例年並みの経常収支比率が見込まれる。

人件費・物件費等の状況



類似団体内順位 17/29 全国平均 155,088 愛媛県平均 144,950

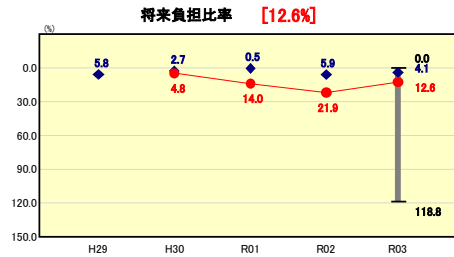
人口1人当たり人件費・物件費等決算額の分析欄

昨年度と比較して8,834円増加した。決算額としては特に物件費が前年度と比較して877,388千円の増加となっており、一人当たり決算額に影響を与えた。物件費の増加要因としては、新型コロナウイルス感染症予防ワクチン接種費が約8億円増加している。
また、類似団体との差は昨年度と比較してやや広がった。
新型コロナウイルス感染症対応関係事業については令和4年度以降も継続して実施しているものもあるため、人件費・物件費等の負担について著しく増加する

令和3年度

愛媛県新居浜市

将来負担の状況

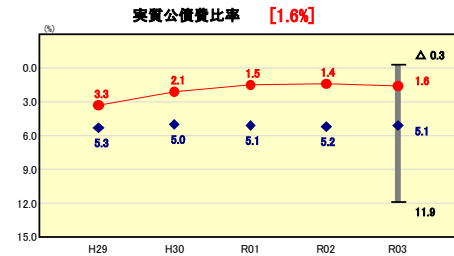


類似団体内順位 17/29 全国平均 15.4 愛媛県平均 18.8

将来負担比率の分析欄

昨年度と比較して9.3ポイント減少した。減債基金、公共施設整備基金の充当可能基金の増加や、都市計画税収等充当可能特定歳入の増加により分子が減少したことにより、将来負担比率が減少した。

公債費負担の状況

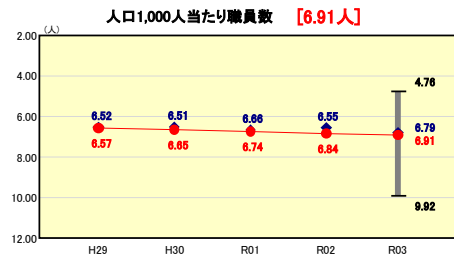


類似団体内順位 5/29 全国平均 5.5 愛媛県平均 7.5

実質公債費比率の分析欄

昨年度と比較して0.2ポイント増加した。分子の増加としては、平成28～29年度同意債の元金償還開始等、分母の減少としては、基準財政収入額の減等による標準税収入額等の減によるものである。

定員管理の状況

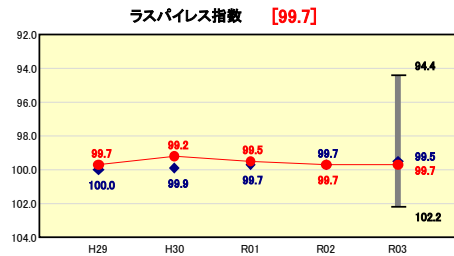


類似団体内順位 18/29 全国平均 8.21 愛媛県平均 8.03

人口1,000人当たり職員数の分析欄

昨年度と比較して0.07人増加した。類似団体の平均値をわずかに上回るが、ほぼ平均値で推移している。全国平均、愛媛県平均との比較では共に下回っている。今後も定員管理の適正な推進や管理経費の圧縮に努め、現水準を保てるよう努めていく。

給与水準（国との比較）



類似団体内順位 18/29 全国市平均 98.8 全国町村平均 96.3

ラスバイレ指数の分析欄

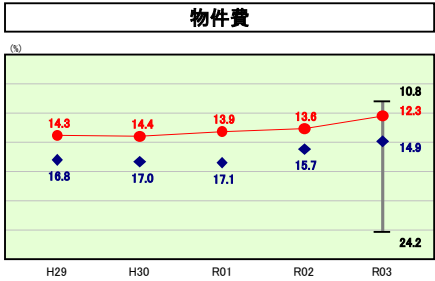
昨年度から変化はなかった。類似団体平均をやや上回っており、全国市平均と一致している。民間給与水準や他自治体等の動向にも注視しながら、引続き市民の理解を得られる給与水準となるよう努める。

(4)-1 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

経常収支比率の分析

人	口	116,624	人(R4.1.1現在)	実	質	赤	字	比	率	-	%
うち日本人	口	115,394	人(R4.1.1現在)	連	結	実	質	赤	字	比	率
面積	積	234.47	km ²	実	質	公	債	費	比	率	1.6
歳入総額	額	58,143,712	千円	得	来	負	担	比	率	12.6	%
歳出総額	額	57,052,076	千円	市	町	村	類	型	H29	Ⅲ-2	H30
実質収支	額	983,918	千円	(	年	度	毎	)	R02	Ⅲ-2	R03
標準財政規模	額	28,526,491	千円						Ⅲ-2		
地方債現在高	額	53,518,511	千円								

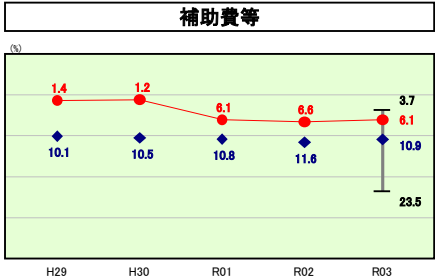
※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



類似団体内順位 3/29 全国平均 13.6 愛媛県平均 13.4

物件費の分析欄

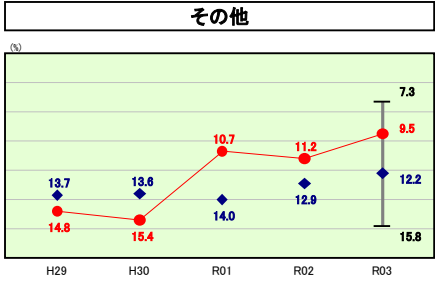
類似団体平均、全国平均、愛媛県平均全てを下回っている。また、昨年度と比較して、システム構築に係る費用の減少等により、1.3ポイント減少した。今後も日常的に業務の見直しを行い、経常経費の削減に努める。



類似団体内順位 3/29 全国平均 10.2 愛媛県平均 8.6

補助費等の分析欄

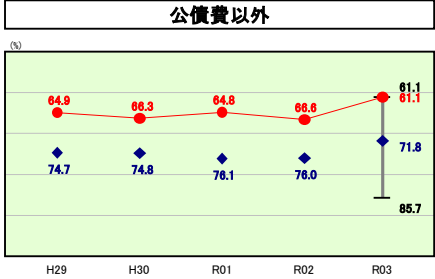
公共下水道事業会計への繰出金の減少等により、昨年度と比較して0.5ポイント減少しており、前年度と同様に類似団体平均、全国平均、愛媛県平均を大幅に下回っている。



類似団体内順位 3/29 全国平均 12.0 愛媛県平均 12.7

その他の分析欄

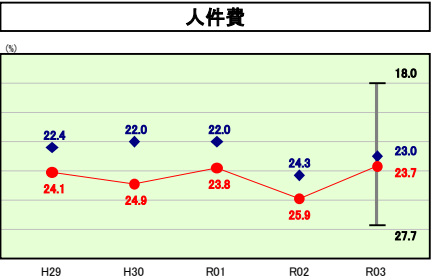
昨年度と比較して1.7ポイント減少した。類似団体平均、全国平均、愛媛県平均を下回っている。その他の内、投資及び出資金について、公共下水道事業会計への繰出金が減少した。



類似団体内順位 1/29 全国平均 73.2 愛媛県平均 69.0

公債費以外の分析欄

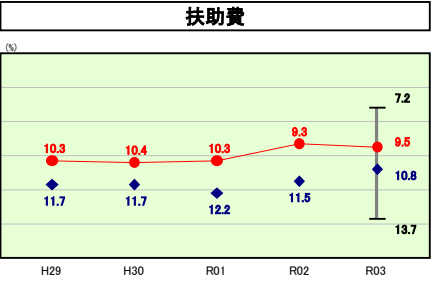
経常収支比率自体が低いことから、公債費を除いた経常収支比率も類似団体内平均を大幅に下回っている。



類似団体内順位 17/29 全国平均 25.2 愛媛県平均 23.7

人件費の分析欄

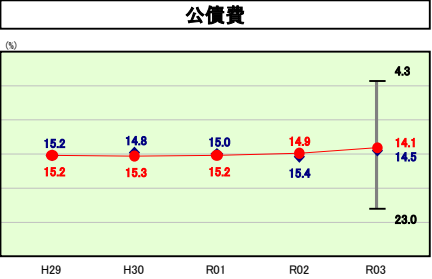
昨年度と比較して2.2ポイント減少した。人件費の経常一般財源充当額としては0.1%程の減少となっているが、分母である経常一般財源の全体額が昨年度と比較して約7%増加しているため、人件費の減少率が引き上げられる結果となった。
全国平均は下回っているものの類似団体平均を上回っているため、今後も業務の効率化を図り、適正な定員管理に努める。



類似団体内順位 5/29 全国平均 12.0 愛媛県平均 10.6

扶助費の分析欄

昨年度と比較して0.2ポイントの増加となった。医療費助成等扶助費にかかる費用は年々増加しており、経常一般財源の充当額も増加した。類似団体平均、全国平均、愛媛県平均の全てにおいて下回っている。



類似団体内順位 14/29 全国平均 15.7 愛媛県平均 17.2

公債費の分析欄

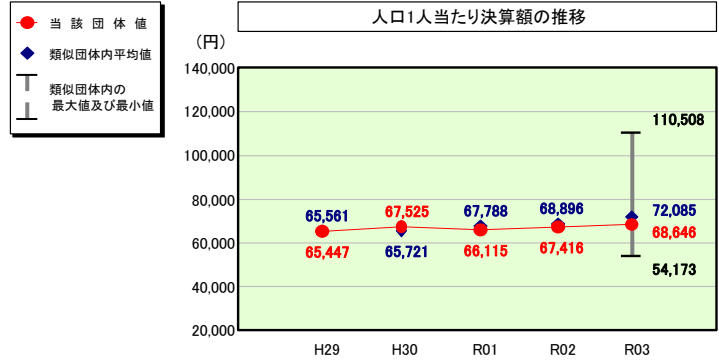
昨年度と比較して0.8ポイント減少した。類似団体平均、全国平均、愛媛県平均全てを下回っているが、近年の借入の状況も注視し、公債費に対する負担割合が著しく増加しないよう、今後計画的な借入を行う。

(4)-2 市町村経常経費分析表(普通会計決算)

令和3年度

愛媛県新居浜市

人件費及び人件費に準ずる費用の分析



人件費及び人件費に準ずる費用

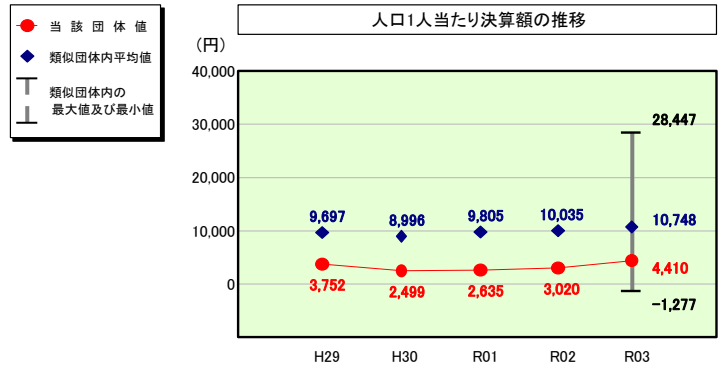
	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
人件費	8,408,544	72,100	66,231	▲ 8.9
一部事務組合負担金(補助費等)	5,462	47	3,837	▲ 98.8
公営企業(法適)等に対する繰出し(補助費等)	45,692	392	2,036	▲ 80.7
公営企業(法適)等に対する繰出し(投資及び出資金・貸付金)	-	-	22	-
公営企業(法非適)等に対する繰出し(繰出金)	137,730	1,181	2,446	▲ 51.7
事業費支弁に係る職員の人件費(投資的経費)	167,070	1,433	1,539	▲ 6.9
▲退職金	▲ 758,703	▲ 6,506	▲ 4,027	▲ 61.6
合計	8,005,795	68,646	72,085	▲ 4.8

参考

	当該団体	類似団体平均	対比(差引)
人口1,000人当たり職員数(人)	6.91	6.79	0.12
ラスパイレス指数	99.7	99.5	0.2

(注) 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

公債費及び公債費に準ずる費用の分析

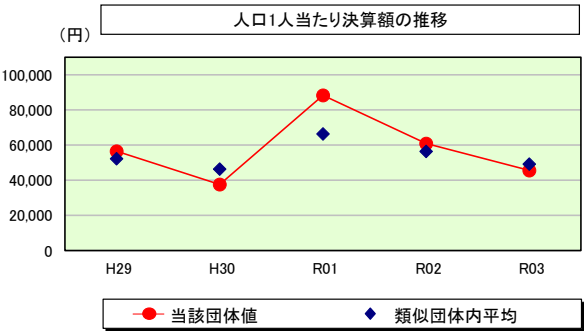


公債費及び公債費に準ずる費用(実質公債費比率の構成要素)

	当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額		
		当該団体(円)	類似団体平均(円)	対比(%)
元利償還金の額 (繰上償還額等を除く)	4,553,254	39,042	37,860	▲ 3.1
積立不足額を考慮して算定した額	-	-	-	-
満期一括償還地方債の一年当たりの元金償還金に相当するもの (年度割相当額)	-	-	17	-
公営企業に要する経費の財源とする地方債の償還の財源に 充てたと認められる繰入金	1,328,870	11,394	11,532	▲ 1.2
一部事務組合等の起こした地方債に充てたと認められる 補助金又は負担金	-	-	1,356	-
公債費に準ずる債務負担行為に係るもの	3,529	30	431	▲ 93.0
一時借入金利子 (同一団体に於ける会計間の現金運用に係る利子は除く)	-	-	0	-
▲特定財源の額	▲ 1,242,516	▲ 10,654	▲ 7,223	▲ 47.5
▲地方債に係る元利償還金及び準元利償還金に要する経費として 普通交付税の額の算定に用いる基準財政需要額に算入された額	▲ 4,128,873	▲ 35,403	▲ 33,224	▲ 6.6
合計	514,264	4,410	10,748	▲ 59.0

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考) 普通建設事業費の分析



普通建設事業費

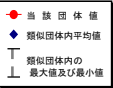
		当該団体決算額 (千円)	人口1人当たり決算額				
			当該団体(円)	増減率(%) (A)	類似団体平均(円)	増減率(%) (B)	(A)－(B)
H29		6,841,393	56,580	13.7	52,308	▲ 17.3	31.0
	うち単独分	3,556,731	29,415	1.5	28,695	5.3	▲ 3.8
H30		4,507,308	37,594	▲ 33.6	46,402	▲ 11.3	▲ 22.3
	うち単独分	3,036,048	25,323	▲ 13.9	26,897	▲ 6.3	▲ 7.6
R01		10,509,168	88,335	135.0	66,343	43.0	92.0
	うち単独分	8,144,492	68,458	170.3	34,529	28.4	141.9
R02		7,179,108	60,919	▲ 31.0	56,416	▲ 15.0	▲ 16.0
	うち単独分	3,978,441	33,760	▲ 50.7	32,623	▲ 5.5	▲ 45.2
R03		5,323,826	45,649	▲ 25.1	49,217	▲ 12.8	▲ 12.3
	うち単独分	3,241,270	27,792	▲ 17.7	27,232	▲ 16.5	▲ 1.2
過去5年間平均		6,872,161	57,815	11.8	54,137	▲ 2.7	14.5
	うち単独分	4,391,396	36,950	17.9	29,995	1.1	16.8

(5)市町村性質別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

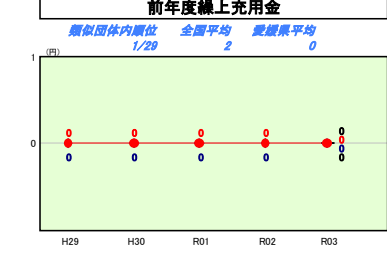
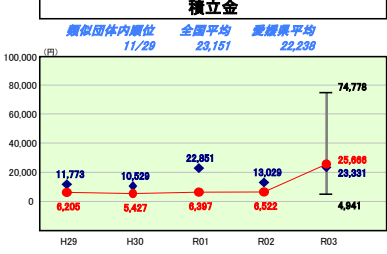
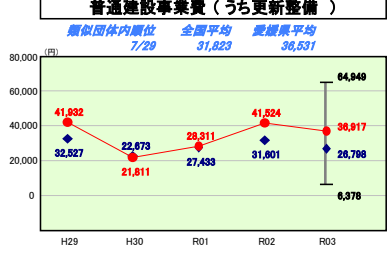
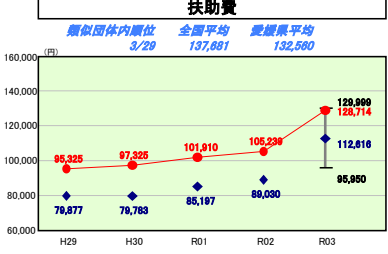
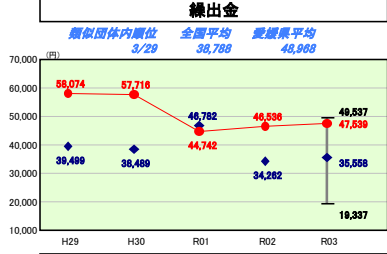
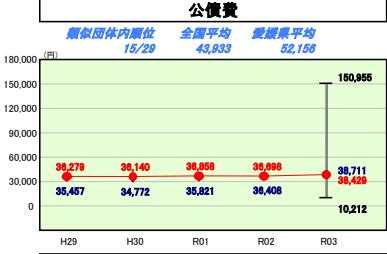
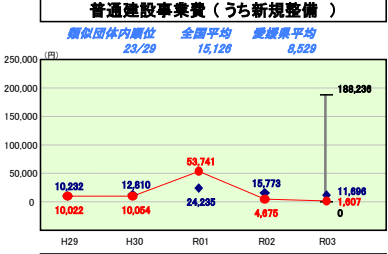
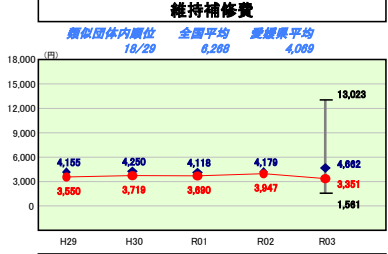
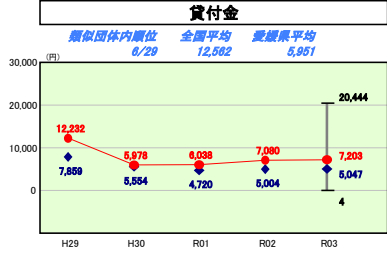
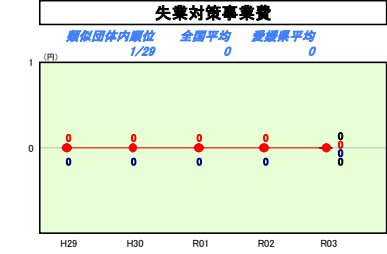
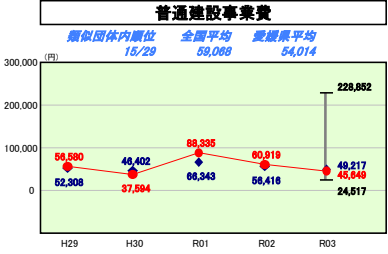
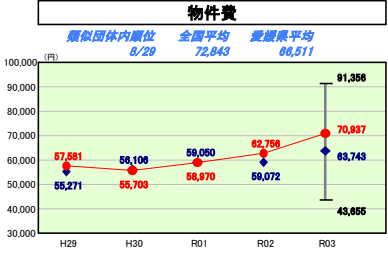
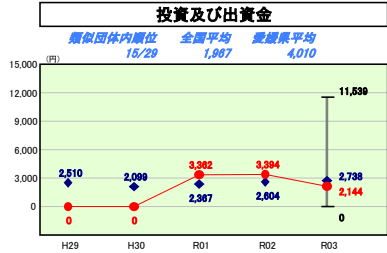
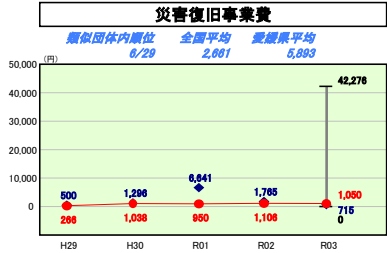
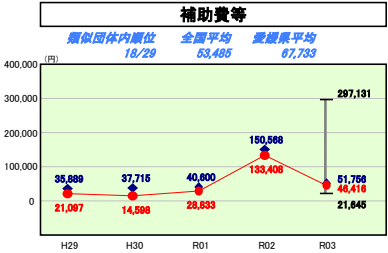
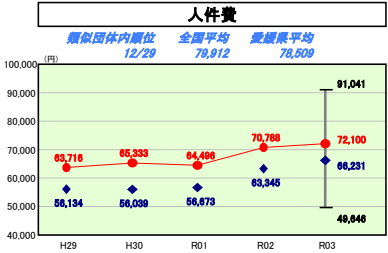
令和3年度

愛媛県新居浜市

人口	116,624人(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	115,394人(R4.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	234.47km ²	実質公債負担比率	1.6	%
歳入総額	58,143,712千円	実求負担比率	12.6	%
歳出総額	57,052,076千円	市町村類型	H29 Ⅲ-2	R30 Ⅲ-2
実質収支	983,918千円	(年度毎)	R02 Ⅲ-2	R03 Ⅲ-2
標準財政規模	28,526,491千円			
地方債現在高	53,518,511千円			



※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。
※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。



性質別歳出の分析

昨年度と比較して増加した費用の内、その差額が最も大きかったのは扶助費で、23,475円の増加となった。これは、子育て世帯臨時特別給付金事業費等、国のコロナ関連事業の実施によるもので、類似団体平均についても急激に増加している。また、全国平均、愛媛県平均は下回っているものの、類似団体内順位は3位と上位になっている。二番目は積立金で、19,144円の増加となった。これは、新型コロナウイルス感染症の影響で減少すると見込まれた税収について、見込を上回って歳入されたことによる積立金の増加である。三番目は物件費で、8,181円増加した。これは、新型コロナウイルス感染症予防ワクチン接種費の増加によるもので、事業費は約8億円増加しており当市の物件費全体の約10%を占めた。大幅な変化があった費用の増加要因として、新型コロナウイルス感染症の影響を受けていることが分かった。

次に、減少した費用の内、その差額が最も大きかったのは補助費で、86,992円減少した。これは、特別定額給付金約118億円の減少によるもので、類似団体平均と同様に令和2年度が特別増加していた。二番目は普通建設事業費で、15,270円減少した。令和3年度は公営住宅建て替えや、漁の宮公園リニューアル等各種普通建設事業を実施したが、令和2年度に実施した事業にかかった費用の減少がそれを上回る結果となった。また、普通建設事業(うち更新整備)について類似団体平均、全国平均を上回っているため、今後も必要となってくる施設の更新に係る費用について統廃合等も含めて検討を行ってきたい。

(6)市町村目的別歳出決算分析表(住民一人当たりのコスト)

令和3年度

愛媛県新居浜市

人口	116,624人(R4.1.1現在)	実質赤字比率	-	%
うち日本人	115,394人(R4.1.1現在)	通算実質赤字比率	-	%
面積	234.47k㎡	実質公債費比率	1.6	%
歳入総額	58,143,712千円	実質負担比率	12.6	%
歳出総額	57,052,076千円	市町村間差	H29 Ⅲ-2 R01 Ⅲ-2	
実質収支	983,918千円	(年度毎)	R02 Ⅲ-2 R03 Ⅲ-2	
標準財政規模	28,526,491千円			
地方債現在高	53,518,511千円			

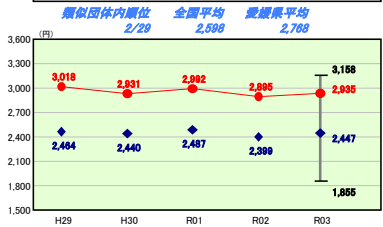


※ 市町村類型とは、人口および産業構造等により全国の市町村を35のグループに分類したものである。当該団体と同じグループに属する団体を類似団体と言う。

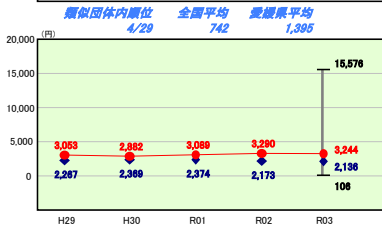
※ 人口については、各調査対象年度の1月1日現在の住民基本台帳に登録されている人口に基づいている。

※ 類似団体内順位、全国平均、各都道府県平均は、令和3年度決算の状況である。また類似団体が存在しない場合、類似団体内順位を表示しない。

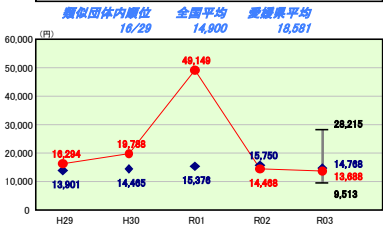
議会費



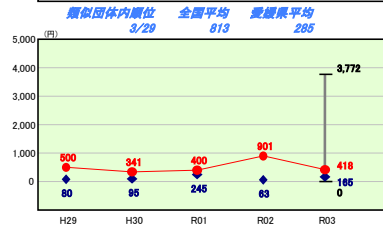
労働費



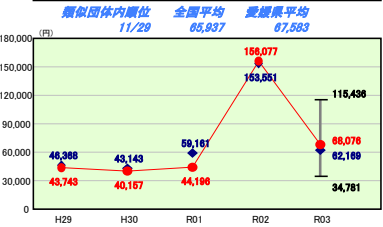
消防費



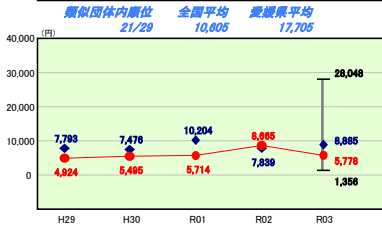
諸支出金



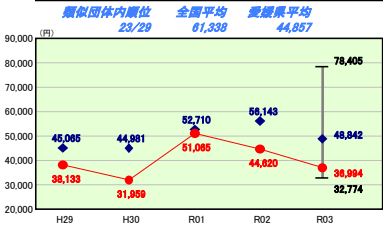
総務費



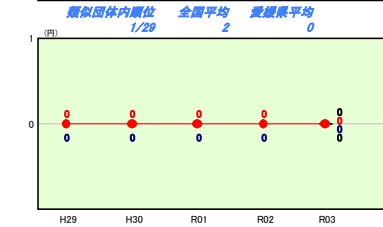
農林水産業費



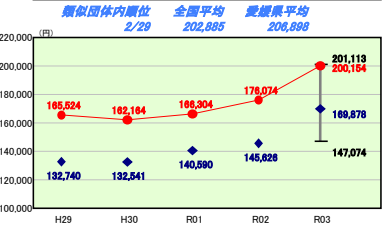
教育費



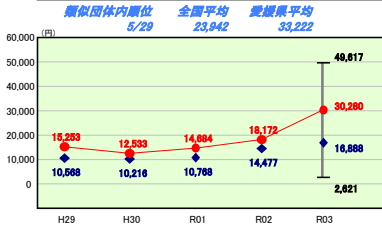
前年度繰上充用金



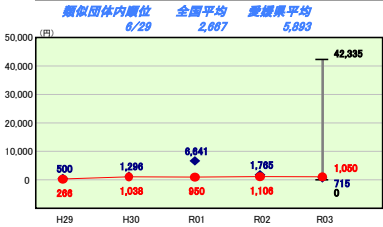
民生費



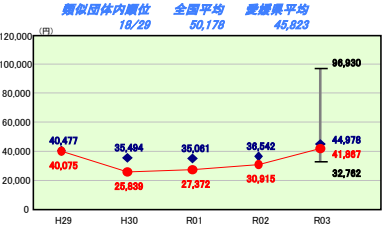
商工費



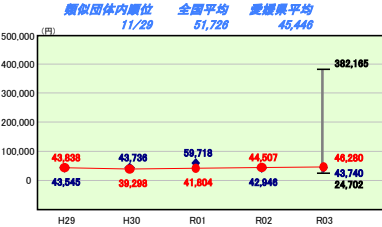
災害復旧費



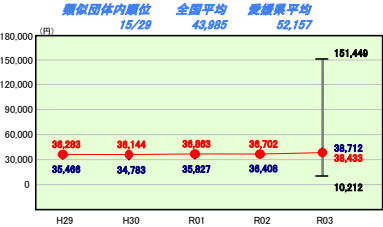
衛生費



土木費



公債費



目的別歳出の分析概

昨年度と比較して増加した費用の内、最も差額が大きかったのは民生費で24,080円増加した。これは、子育て世帯臨時特別給付金等コロナ関連の給付が大きく影響しており、類似団体平均についても同様に上昇している。二番目は商工費で、12,108円増加した。これは、新型コロナウイルス感染症対応として実施した営業時間短縮等協力金事業費や、県・市町連携えひめ版事業者応援事業費の増加によるものである。県・市町連携えひめ版事業者応援事業費については愛媛県と当時の独自事業であるため、類似団体との間に差が生じたと思われる。

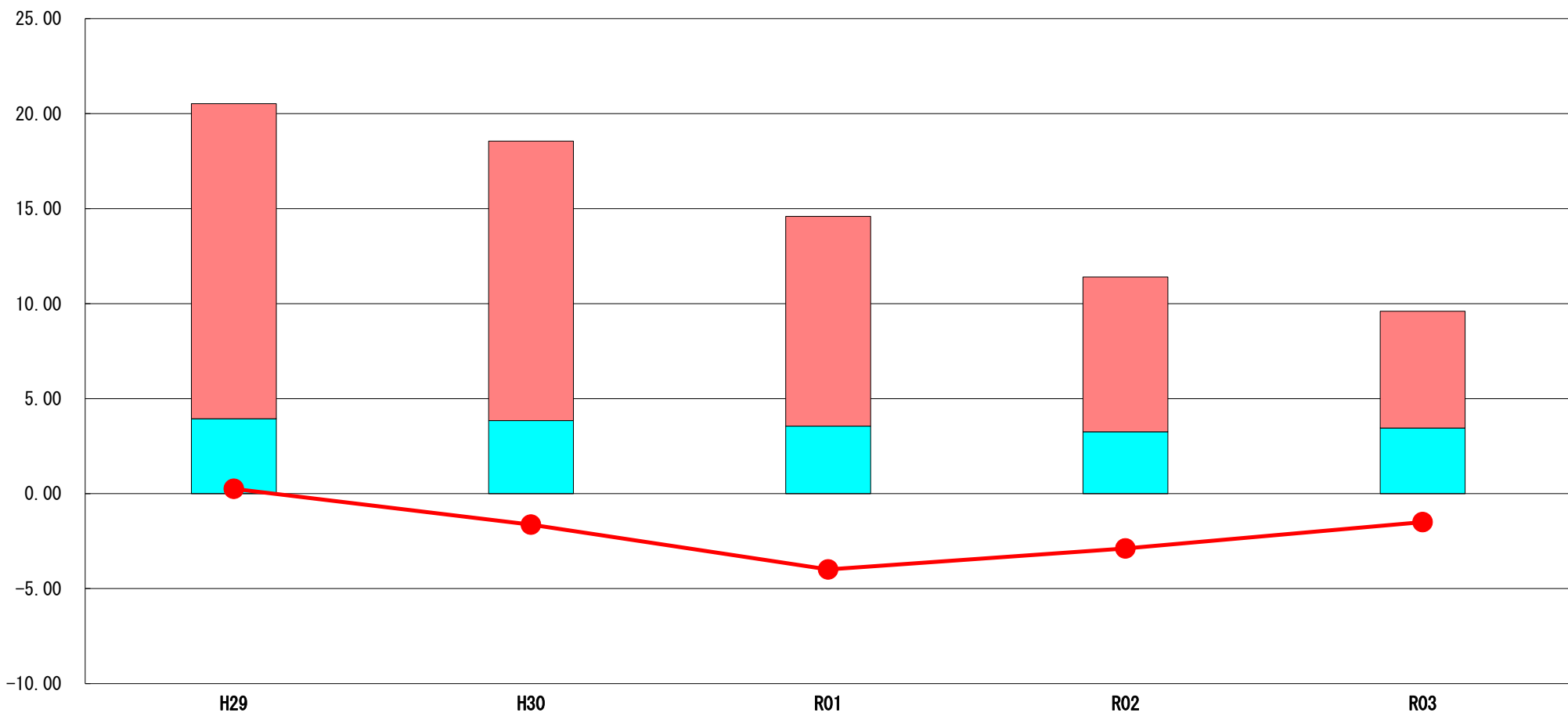
次に、減少した費用の内、その差額が最も大きかったのは総務費で、88,001円減少した。これは特別定額給付金の減少によるものである。二番目は教育費で、7,626円減少した。これは小中学校ICT環境整備事業として小中学校へのタブレット整備等が完了したことに伴うものである。三番目は農林水産業費で、2,887円減少した。これは木材加工流通施設整備事業の完了によるもので、昨年度は類似団体平均を上回っていたが、令和3年度は下回った。令和元年度までの実績を見ると、特に令和2年度が増加していたと思われる。性質別分析と同様、新型コロナウイルス感染症対応によるものの影響が大きく、今後も影響を受

(7) 実質収支比率等に係る経年分析（市町村）

令和3年度

愛媛県新居浜市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

区分	年度	H29	H30	R01	R02	R03
財政調整基金残高		16.58	14.71	11.04	8.15	6.15
実質収支額		3.94	3.84	3.55	3.25	3.45
実質単年度収支		0.25	▲ 1.63	▲ 3.99	▲ 2.89	▲ 1.50

分析欄

実質収支は、財政調整基金の取崩により黒字になっている。また、実質単年度収支は4年連続赤字となっているが、財政調整基金の取崩し額の減少等により、前年度と比較して1.39ポイント改善している。

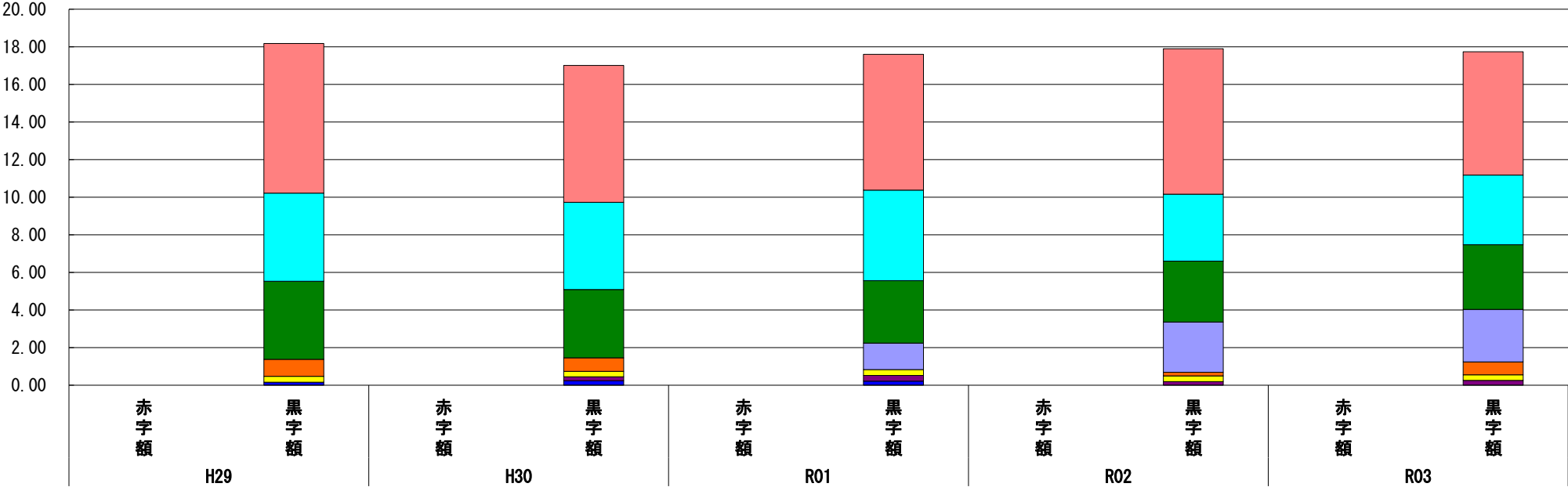
財政調整基金残高については、平成29年度以降右肩下がりで減少している。今後一定の水準を維持できるよう努めるとともに災害発生時等、緊急的な財政出動に備えたい。

(8) 連結実質赤字比率に係る赤字・黒字の構成分析（市町村）

令和3年度

愛媛県新居浜市

標準財政規模比（％）



標準財政規模比（％）

年度		H29	H30	R01	R02	R03
会計						
水道事業会計		7.96	7.28	7.22	7.74	6.56
工業用水道事業会計		4.69	4.64	4.82	3.56	3.71
一般会計		4.15	3.63	3.32	3.24	3.44
公共下水道事業会計		-	-	1.41	2.67	2.79
介護保険事業特別会計		0.91	0.72	0.00	0.19	0.69
後期高齢者医療事業特別会計		0.31	0.29	0.31	0.31	0.29
工業用地造成事業特別会計		0.00	0.21	0.30	0.19	0.26
平尾墓園事業特別会計		0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
その他会計（赤字）		-	-	-	-	-
その他会計（黒字）		0.16	0.24	0.22	0.00	0.00

分析欄

- 現状
全ての会計において赤字は生じていない。
- 今後の対応
各会計において適正な財政運営、企業経営を行っていく。

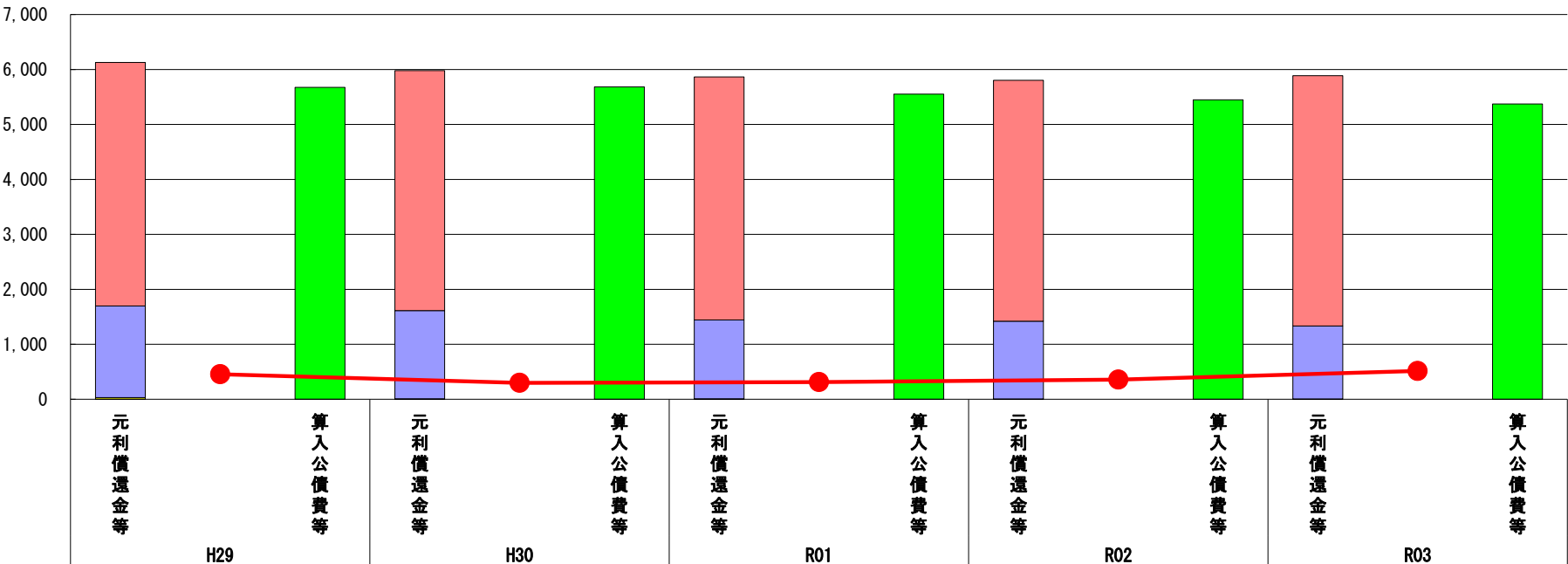
※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく連結実質赤字比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(9) 実質公債費比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

愛媛県新居浜市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度				
		H29	H30	R01	R02	R03
元利償還金等 (A)	元利償還金	4,432	4,368	4,422	4,383	4,553
	減債基金積立不足算定額※2	-	-	-	-	-
	満期一括償還地方債に係る年度割相当額	-	-	-	-	-
	公営企業債の元利償還金に対する繰入金	1,667	1,603	1,435	1,415	1,329
	組合等が起こした地方債の元利償還金に対する負担金等	-	-	-	-	-
	債務負担行為に基づく支出額	29	9	7	5	4
	一時借入金の利子	-	-	-	-	-
算入公債費等 (B)		5,674	5,682	5,551	5,447	5,371
(A) - (B)		454	298	313	356	515

分析欄

○元利償還金
平成29年度以降ほぼ横ばいである。
○公営企業債の元利償還金に対する繰入金
平成29年度以降、微減を続けている。
○算入公債費等
令和3年度は前年度に比べ微減となっているため、実質公債費比率の分子は増加している。

※1 令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく実質公債費比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(参考)

(百万円)

		年度				
		H28末	H29末	H30末	R01末	R02末
※2 減債基金積立状況等	減債基金残高(注)					
	減債基金積立相当額					

分析欄

該当なし

(注) 減債基金残高のうち、実質公債費比率の算定に用いる満期一括償還地方債の償還の財源として積み立てた額に係るもののみを記入。

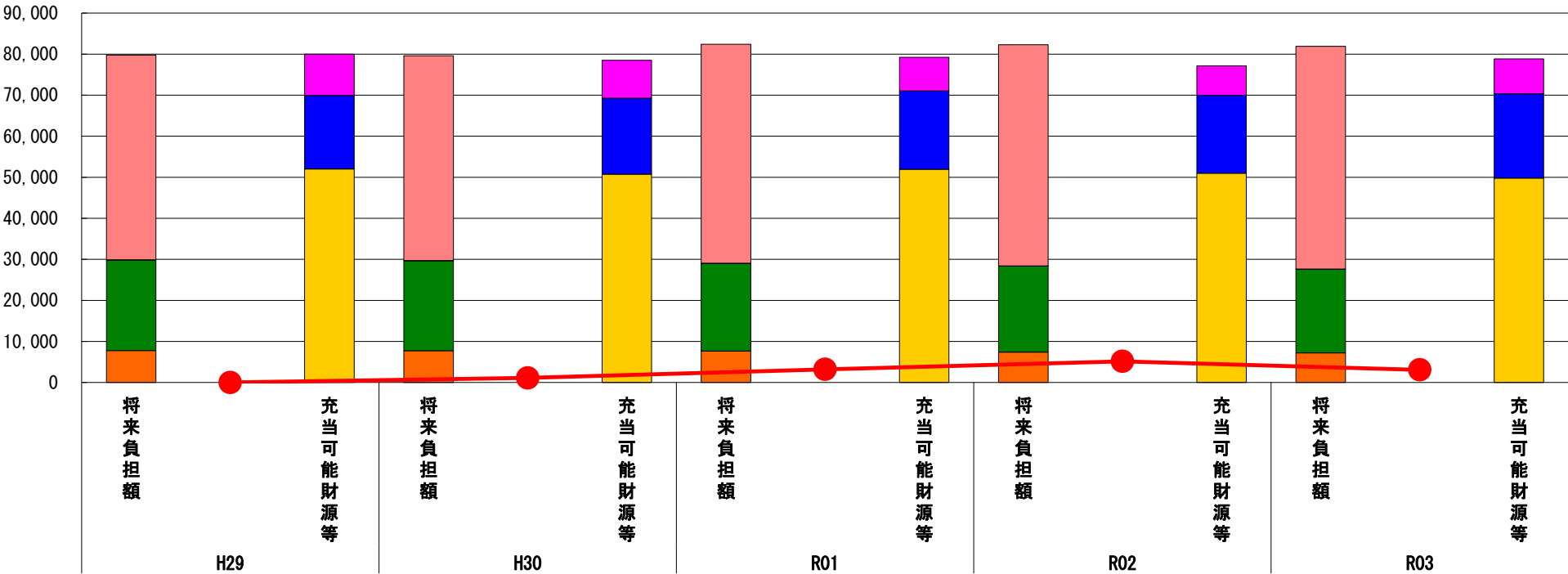
減債基金積立金の年度を超えた一般会計又は特別会計への貸付額は控除して記入。

(10) 将来負担比率（分子）の構造（市町村）

令和3年度

愛媛県新居浜市

(百万円)



(百万円)

分子の構造		年度	H29	H30	R01	R02	R03
将来負担額 (A)	一般会計等に係る地方債の現在高		49,872	49,901	53,359	53,888	54,269
	債務負担行為に基づく支出予定額		30	22	15	10	6
	公営企業債等繰入見込額		22,078	21,942	21,399	21,020	20,446
	組合等負担等見込額		-	-	-	-	-
	退職手当負担見込額		7,793	7,730	7,646	7,382	7,187
	設立法人等の負債額等負担見込額		-	-	-	-	-
	うち、健全化法施行規則附則第三条に係る負担見込額		-	-	-	-	-
	連結実質赤字額		-	-	-	-	-
	組合等連結実質赤字額負担見込額		-	-	-	-	-
充当可能財源等 (B)	充当可能基金		10,062	9,226	8,200	7,209	8,483
	充当可能特定歳入		17,912	18,501	19,094	18,982	20,533
	基準財政需要額算入見込額		52,021	50,765	51,925	50,968	49,810
(A) - (B)	将来負担比率の分子		▲ 222	1,103	3,201	5,141	3,082

分析欄

一般会計等に係る地方債の現在高は、平成30年度から令和元年度にかけては防災拠点施設に関する借入で大幅に増加しているが、その後は微増が続いている。

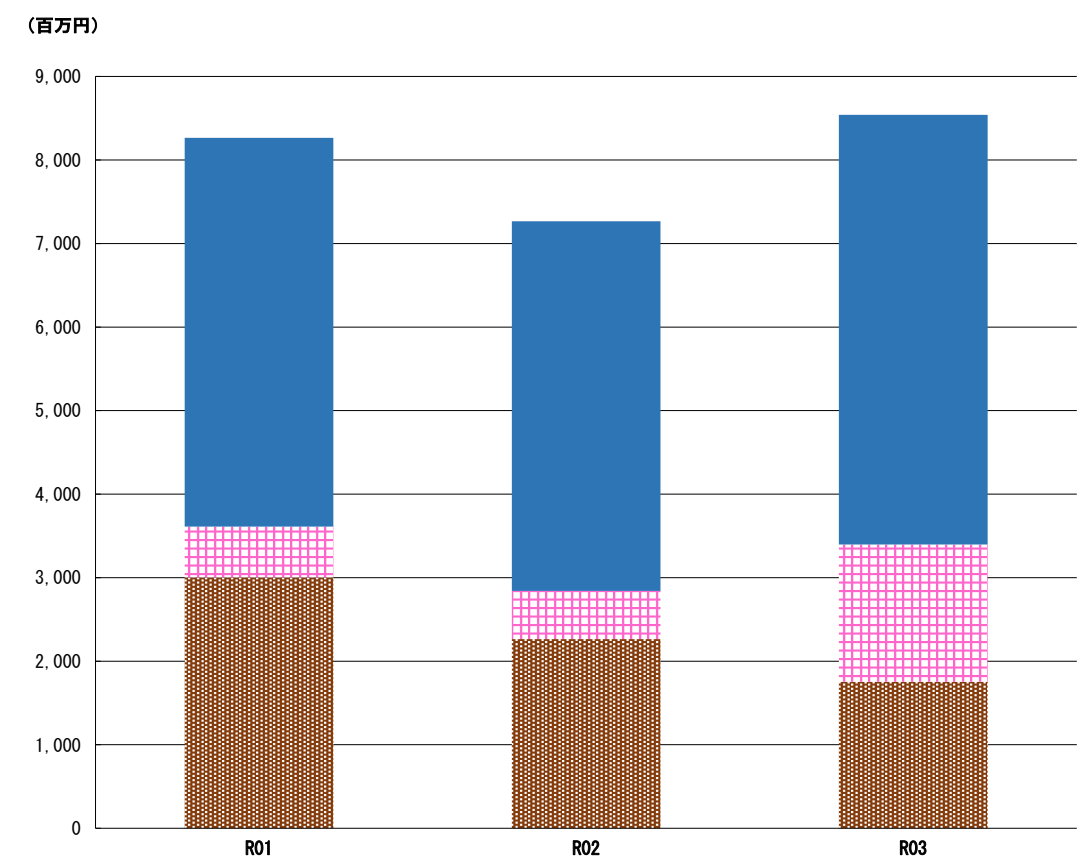
また、公営企業債等繰入見込額及び退職手当負担見込額は年々減少している。

令和3年度は充当可能基金と充当可能特定歳入の増加により、将来負担比率の分子は減少した。

充当可能財源等のうち基準財政需要額算入見込額については令和元年度以降減少している。

※令和4年度中に市町村合併した団体で、合併前の団体ごとの決算に基づく将来負担比率を算出していない団体については、グラフを表記しない。

(11) 基金残高（東日本大震災分を含む）に係る経年分析（市町村）



		(百万円)		
区分	年度	R01	R02	R03
財政調整基金		3,003	2,265	1,754
減債基金		608	576	1,643
其他特定目的基金		4,655	4,426	5,143
	合併振興基金	1,462	1,428	1,348
	公共施設整備基金	349	203	1,084
	文化振興基金	822	823	823
	体育施設建設基金	696	697	698
	別子山振興基金	290	277	259
基金残高合計		8,266	7,267	8,540

令和3年度	愛媛県新居浜市
基金全体 (増減理由) 新型コロナウイルス感染症の影響により減少を見込んでいた市税等収入について見込みを上回って歳入されたことにより、減債基金や特定目的基金の内公共施設整備基金に積み立てを行うことができたため、基金残高は昨年度と比較して1,273百万円増加し、令和元年度末並みとなった。 (今後の方針) 令和3年度の市税収入の実績を踏まえて、令和4年度普通交付税は減額になってくることが予想されるため、これまでと変わらず特定財源の確保に努めるなどして健全財政の維持に努める。	
財政調整基金 (増減理由) 年々減少しているが、令和2年度は738百万円減少していたのに対して令和3年度は511百万円の減少と、残高の減少率は小さくなった。 (今後の方針) 事業の実施に係る財源として財政調整基金の取り崩しに頼らず、国庫補助等特定財源の確保に努め、一定額の基金残高を確保できるよう、適切な積立と取崩を行いたい。	
減債基金 (増減理由) 新型コロナウイルス感染症の影響により減少を見込んでいた市税等収入について、見込みを上回って歳入されたことにより、積立金残高は1,067百万円増加した。 (今後の方針) 今後元金の償還が始まる防災拠点施設関連事業等、公債費の償還に備えて適切に積立及び取崩を行う。	
其他特定目的基金 (基金の使途) 特定目的基金の内最も金額の大きい合併振興基金については、市民の連帯の強化及び地域振興に要する経費に充当することとしており、令和3年度は刊行物「新居浜市の歴史」作成に係る費用や、全市民を対象とした新居浜市まち・わざ・しごとフェスの開催等に活用した。次に、公共施設整備基金については、今後大規模改修等を予定している各種施設の改修、整備に備え、積立を行った。文化振興基金・体育施設建設基金については近年取崩を行っていないが、今後予定している施設の建て替え等の際には活用を検討していく。別子山振興基金については、当市別子山地区の地域振興を図ることを目的としており、毎年別子山給水施設管理費や地域バスの運行などに活用している。 (増減理由) 昨年度と比較して717百万円の増加となった。各種基金についてそれぞれの目的ごとに毎年取崩を行っているが、令和3年度については公共施設整備基金への積立が取り崩し額を上回ったことにより全体の基金残高が増額となった。 (今後の方針) 令和3年度は公共施設整備基金のように積立を行うことができた基金もあったが、毎年決まった事業に充当している基金については年々減少傾向にある。これまで基金を充当して実施してきた事業についても見直しが必要であり、また、基金に頼らず特定財源の確保に努めるなどして健全財政の維持に努める。	